

# 多良木中学校第1学年 国語科 学習構想案

日時 令和5年11月15日(水) 第5校時

場所 1年2組教室

指導者 多良木町立多良木中学校 教諭 那須 裕貴

## I 単元構想

単元名	いにしへの心にふれる 蓬萊の玉の枝 — 「竹取物語」から (光村図書 P158~169)		
単元の目標	(1) 音読に必要な文語のきまりを知り, 古文を音読し, 古典特有のリズムを通して, 古典の世界に親しむことができる。 [知識及び技能] (3)ア (2) 場面の展開や登場人物の相互関係, 心情の変化などについて, 描写を基に捉えることができる。 [思考力, 判断力, 表現力等] C(1)イ (3) 文章を読んで理解したことに基づいて, 自分の考えを確かなものに行うことができる。 [思考力, 判断力, 表現力等] C(1)オ (4) 言葉がもつ価値に気付くとともに, 進んで読書をし, 我が国の言語文化を大切にして, 思いや, 考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力, 人間性等」		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①音読に必要な文語のきまりを知り, 古文を音読し, 古典特有のリズムを通して, 古典の世界に親しんでいる。	①「読むこと」において, 場面の展開や登場人物の相互関係, 心情の変化などについて, 描写を基に捉えている。 ②「読むこと」において, 文章を読んで理解したことに基づいて, 自分の考えを確かなものに行っている。	①積極的に古文を音読し, 登場人物の相互関係や心情の変化を捉え, 学習の見直しをもって, 作品に対する自分の考えを説明しようとしている。
単元終了時の生徒の姿			
物語を読むときに, 言葉に着目して場面の様子や心情の変化を読み, 作品の魅力や作者の伝えたいことを明確にした上で, 自分の考えを伝えようとする生徒の姿			
単元を通した学習課題		本単元で働かせる見方・考え方	
竹取物語の魅力を探り, 「『竹取物語』を10倍深く読む方法」をつくろう。		歴史的仮名遣いに気を付けながら, 登場人物の行動やその理由, 情景を描写する言葉に着目し, 心情の変化を考えることを通して言葉への自覚を高めること。	
指導計画と評価計画 (6時間取扱い 本時5/6)			
過程	時間	学習活動 (「問い」を設定しても可)	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いろは歌の学習を想起し, 歴史的仮名遣いについて確認するとともに, 「竹取物語」という作品について知り, 「長い間読み継がれてきたこと」を押さえ, その謎に迫る学習課題を知る。</li> <li>○ 課題で出していた「竹取物語(かぐや姫)を読んだ感想や疑問」を一覧表にして配付し, その課題を参考に, 今後の計画を立てる。</li> <li>○ 「冒頭部分」を現代語訳と対応させながら音読する。</li> <li>○ 登場人物の心情を捉え, この場面で出た課題に対して, 自分の考えをもつ。</li> </ul>	【知】① (観察・学習計画表) 【態】① (観察・学習計画表)
二	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時の学習を振り返る。</li> <li>○ 「蓬萊の玉の枝の場面」を現代語訳と対応させながら音読する。</li> <li>○ 登場人物の心情を捉え, この場面で出た課題に対して, 自分の考えをもつ。</li> </ul>	★【思】① (観察・ワークシート) ○ 登場人物がどのような難題に挑み, どのような結果を迎えたか捉えている。 ★【態】① (観察・学習計画表) ○ 自ら進んで考えをまとめようとしている。
三	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時の学習を振り返る。</li> <li>○ 「月に帰る場面」を現代語訳と対応させながら音読する。</li> <li>○ 登場人物の心情を捉え, この場面で出た課題に対して, 自分の考えをもつ。</li> </ul>	★【知】① (観察・確認テスト) ○ 前回学んだ歴史的仮名遣いについて復習をしている。 【思】① (観察・ワークシート)

四 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時の学習を振り返る。</li> <li>○ エキスパート活動(課題別のグループ活動)を行い、グループの課題について話し合い、自分の意見をもつ。</li> <li>○ ジグソー活動を行い、(本来のグループでの活動)エキスパート活動で出た意見を元のグループで交流する。</li> <li>○ ジグソー活動までを踏まえ、他のグループの意見を聴いて個人の意見を整理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★【思】②(観察・ワークシート)</li> <li>○ 『竹取物語』がなぜ、現在まで多くの人に読み継がれてきたのか、既習事項を基に、それぞれの課題について考えている。</li> </ul>
五	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時の学習を振り返る。</li> <li>○ 「竹取物語を10倍深く読む方法」を作成する。</li> <li>○ お互いに読み合い、評価をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★【思】②(観察・ワークシート)</li> <li>○ 「『竹取物語』を10倍深く読む方法」を書いている。</li> </ul>

## 2 単元における系統及び生徒の実態

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)				
中学校学習指導要領第1学年 [知識及び技能] (3) 我が国の言語文化に関する事項 ア [思考力, 判断力, 表現力等] 「C 読むこと」 イ オ				
教材・題材の価値				
本教材『竹取物語』については「かぐや姫」の絵本, 紙芝居などを通して多くの生徒が知っている作品なので, 古典への興味・関心を抱かせると共に, 今後の古典学習の基礎づくりとしては格好の教材といえる。内容的に見ても幻想, 冒険, 恋愛と親しみやすい。また, 文章は比較的短く, 歴史的仮名遣いも分かりやすいので音読にも適している。本授業でも, 何度も音読をし, 歴史的仮名遣いに慣れさせたい。 『竹取物語』は「物語の出で来はじめの祖」と『源氏物語』の中にも記されているように, 平安時代に作られたわが国最古の物語文学であるといわれる。そんな最古の物語は現在まで多くの人に親しまれてきた。今回の授業では, 「日本最古の物語『竹取物語』がなぜ, 現在まで多くの人に読み継がれてきたのか考えよう。」と学習課題を設定する。自らの意見と周囲の意見を参考にしながら, この学習課題を解決していくために古文を読むという目的意識を生徒にもたせることで, 生徒が主体的に学習に取り組める授業展開の工夫を行い, 古典の世界に興味・関心を抱かせたい。				
本単元における系統				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             1年 音読を楽しもう いろは歌           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             6年 伝統文化を楽しもう 狂言「柿山伏」           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             1年 いにしえの心にふれる 今に生きる言葉           </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             1年 いにしえの心にふれる 蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から           </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             2年 いにしえの心を訪ねる 扇的―「平家物語」から           </div> </div>				
生徒の実態(単元の目標につながる学びの実態)				
■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況(熊本県学力・学習状況調査 R3 5を用いて調査)				
項目	正答率%(当時の県平均)			
登場人物の心情について, 描写を基に捉えている。	73%(71.7%)			
表現の効果について, 根拠を明確にして考えている。	70%(52.1%)			
文章を読んで理解したことに基づいて, 自分の考えを確かなものにしていく。	79%(71.3%)			
■本単元の学習に関する意識の状況				
調査内容	好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない
あなたは国語の授業は好きですか。(人)	10	12	0	0
1つのテーマについて班で話し合ったり, 意見を言い合ったりする活動は好きですか。(人)	8	14	0	0
小学5年生の時に, 竹取物語の冒頭部を(今は昔～)音読したのを覚えていますか。	覚えている 12	覚えていない 7	分からない 3	
■考察				
授業を行うにあたって, 令和3年度の熊本県学力・学習状況調査5を解いた結果から, 熊本県の正答率をわずかに上回っていることが分かった。しかし, 日頃の授業や定期テストでは, 登場人物の心情や状況, 行動の理由などを作品の描写や表現から読み取ることに苦手意識をもつ生徒もいる。そのため, 現代語訳や語				

注を手掛かりに、内容の読み取りをしっかりと行う必要がある。導入やまとめの時間を活用して、既習事項の確認や、授業の内容の確認を行う。古文ではないが、現在までに「シンシュン」や「大人になれなかった弟たちに」「星の花が降るころに」などの単元を通して、登場人物の言動の意味を考え、心情を読み取る活動を、生徒が考えた課題を通して行ってきた。そこで身に付けたことも生徒に意識させながら、授業を行っていきたい。

竹取物語に対しては、小学生の時の授業で音読したことを覚えている生徒は半分程度で、残りの生徒は「覚えていない」「分からない」と回答した。昔の物語や言葉遣いについては多くの生徒が覚えていないと答えた。そのため、もう一度丁寧に音読指導を中心に指導を行う必要がある。本単元では音読カードを用い、生徒の音読の実態を毎回把握するようにする。

本学級は、全体的に国語の授業への意欲は高い。4月から班活動やペア学習で教え合いや助け合いの姿が見られる。また、話し合いの中で他者の意見にふれ、自分の考えが深まると実感している生徒も多い。しかし、自分の意見や考えを書いたり発表したりする授業になると、自分の考えをうまく表現できずにいる生徒も数人見受けられる。

### 3 指導に当たった留意点

#### (1) 校内研究テーマとの関連

本校の研究テーマ

自ら見通しをもち、主体的に学びを深める生徒の育成  
～仲間づくりを基盤とした授業づくりを通して～

#### 視点① [自ら見通しをもち]

- 「日本最古の物語『竹取物語』がなぜ、現在まで多くの人に読み継がれてきたのか考えよう。」と学習課題を設定し、その謎を解明するために、古文を読むという目的意識を生徒にもたせることで、生徒が見通しをもって学習に取り組めるようにする。

【将来を展望する力 Vision】

#### 視点② [主体的・対話的に学びを深める] (授業)

- 課題を解決する過程として、自分の考えをもつ時間を十分に設定する。そして、自分の考えをもった状態で、班活動や対話的な活動をすることにより、自分の考えを深めたり、広げたりする。

班活動では、司会・発表・タイムキーパー・お助け（欠席者の代わり・困ったときのサポーター）の役割を決め、それぞれがその役割を果たす形で進めていく。話し合いをする中で互いを尊重し合い、それぞれの考えや意見を共感的に受け止める支持的風土づくりに努める。

【自他を大切にする力 Emotion】【最後までやり抜く力 Action】

- この単元の前に、「『かぐや姫』の話で気になることは何だろう。」という課題に取り組ませる。今まで触れたことのある絵本「かぐや姫」をあらかじめ読んでおき、気になる場面や表現を出させておくことで、学習の見通しをもち、関心をもって学習に取り組む。また、初めての古典で理解に時間がかかる生徒が出てくる。絵本をあらかじめ読ませておくことで古典への苦手意識を少しでも減らし、「誰一人取り残さない学びの保障」につなげていく。

【将来を展望する力 Vision】

- 本時では、「日本最古の物語『竹取物語』がなぜ、現在まで多くの人に読み継がれてきたのか考えよう。」という学習課題を設定する。既習事項を根拠とし、根拠を明確にして自分の考えをまとめる。

【将来を展望する力 Vision】

#### 視点③ [主体的・対話的に学びを深める] (日常)

- 日頃から、級友1人1人の存在に目を向け、リーダーを中心に教え合い、学び合いのできる班編成に取り組むと共に、日ごろからお互いに目を向け、話しやすい雰囲気づくりをする。

【自他を大切にする力 Emotion】

○集会や学級会などで、自分が体験したことや考えたことについて表現し、お互いを知ること  
で認め合う場を設定する。その後、発表者に対して、聞いていた人たちが、自分の考えや思いを  
発表者に返すことで、発表者を受け止め、寄り添う態度を育てる。

【自他を大切にする力 Emotion】

## (2) 本校の身に付けさせたい3つの力との関連

本校で身に付けさせたい力は、「将来を展望する力 (Vision)」「自他を大切にする力 (Emotion)」「  
最後までやり抜く力 (Action)」の3つである。

○生徒が単元を通して意欲的に課題解決に取り組めるように、導入で「日本最古の物語『竹取物  
語』がなぜ、現在まで多くの人に読み継がれてきたのか考えよう。」という学習課題を設定す  
ることで、主体的に学習に取り組み、問題意識の焦点化を図り、見通しをもたせる。

【将来を展望する力 Vision】

○生徒が、自分の学びに対する変容、成長、学習の有用感等を感じられるように、「振り返り」  
の時間で、本時の学習で分かったことに加え、学ぶ前と後の自分の考えの違いに気付かせ、新  
たに考えたいこと、友達との交流の中で学んだことなどを振り返るようにする。

【自他を大切にする力 Emotion】

○生徒が、学習内容を活かせることを実感したり、新たな問いをもったりして学習への意欲をも  
ち続けられるように、単元を通した学習課題に対する自分の考えをまとめる時間を設定する。

【最後までやり抜く力 Action】

## (3) 国語科の研究テーマとの関連

生徒が知的好奇心を継続し、協働的に課題解決したことを表現する国語科授業の展開

授業で出てくる疑問を毎回課題として設定し、解決する授業を展開することで、生徒の興味・関  
心が高まり、最後の課題まで生徒の学習意欲が継続すると考える。また、班活動や全体活動で課題  
を解決したものを最終的な討論に生かすことができるように学び合いの活動を取り入れることに  
した。

## (4) 道徳教育の視点との関連

本単元では、学習活動としては、主にB- (9) 「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、  
それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心も  
もって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。」の視点をもって展開していく。また、古典の指  
導を行うにあたって、D- (17) 「優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日  
本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること。」の  
視点ももつ。

## (5) 人権が尊重される授業づくりの視点

○班で協力する学習を通して、自分が学級や班の一員であることを自覚することができるように  
する。 (自己存在感)

○お互いの発言を最後まで聞き、多様な考え方を大切にする雰囲気を普通の授業の中で培う。  
(支持的風土・共感的人間関係)

○他者との考えを交流する時間を設け、自分のためになる考えを選択する場をつくる。  
(自己選択・決定の場)

#### 4 本時の学習

(1) 目標 前時までに解いた課題への自分の予想を基に、作品の面白さに着目し、竹取物語が現在まで読み継がれてきた謎について自分の考えをまとめることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	10分	<p>1 学習の目標を確認する。</p> <p>①前時の学習を振り返る。</p> <p>◇前回の授業では、かぐや姫が月に帰る場面を学習しました。この場面で解いた課題は、「なぜ作者はハッピーエンドにしなかったのか。」です。ハッピーエンドにしないことで、読者の期待を裏切りたかったのかなと思いました。</p>	<p>○生徒1名が前回の授業内容・学習の振り返りを紹介し、本日の授業内容を説明する。</p> <p>○単元を通した学習課題を確認し、めあての設定を行う。</p>
		<p>【めあて】今まで解いてきた課題を基に、竹取物語の読み継がれてきた謎を解き明かそう。</p> <p>【学習課題】『竹取物語』がなぜ、現在まで多くの人に読み継がれてきたのだろうか。</p>	
展開	30分	<p>②課題に対する自分の予想を立てる。</p> <p>◇かぐや姫の良い人のイメージが、5人の貴公子の場面で変わり、この後どうなるのだろうかと思わされる部分が面白いから。</p>	<p>○今まで解いてきた課題に対する自分の考えを大切にし、予想を立てる。</p>
		<p>2 目標の達成に向けて活動する。</p> <p>①3つのエキスパート活動に分かれて話し合い、自分の考えを明確にする。</p> <p>A-今まで解いた全ての場面の課題から考える。 B-5人の貴公子の場面を中心に考える。 C-月に帰る場面を中心に考える。</p> <p>◇(予想される意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かぐや姫が3か月で大人になることでまず読者を取り込む。</li> <li>・SFっぽい世界に引き込まれる。</li> <li>・かぐや姫の悪い部分を出すことで、この後の展開を分からなくする。</li> <li>・貴公子の恋への情熱が面白いから。</li> <li>・ハッピーエンドを予想していたのに裏切られるから。</li> <li>・月に帰るという場面に驚くから。</li> </ul> <p>②エキスパート活動で出た意見を元のグループで交流し、全体で共有する。 自分たちのグループで話し合った内容を、元のグループに戻って説明する。</p> <p>◇(予想される意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かぐや姫のイメージの差が読者を引きつけている。</li> <li>・竹から生まれて月に帰るという不思議な展開が魅力的だ。</li> <li>・5人の貴公子の場面の面白さが良い。</li> </ul> <p>.....</p> <p>【期待される学びの姿】</p> <p>.....</p> <p>これまでの学習をもとに自らの考えをもち、他者の考えと比較しながら、自分の考えを整理しようとしている。.....</p> <p>③ジグソー活動までを踏まえ、自分の考えの変容や深まりを整理し、班で交流する。</p>	<p>○現在まで多くの人に読み継がれてきた竹取物語について、他者の意見を聞いて、見方や考え方が深まるようにする。</p> <p>○生徒が自己決定して取り組めるよう、3つの活動を用意する。(前時の終わりに課題のアンケートを取り、事前に示された席に移動する。)</p> <p>○「竹取物語」の魅力や興味をもったところについて自分の考えをもち、他者の意見を聞いて、自分の考えが深まるようにする。</p>
終末	10分	<p>3 学習課題に対する答えをまとめ、めあてに対する振り返りをする。</p>	<p>○めあてや学習課題を振り返りながら、本時の学習をまとめる。</p>
		<p>【まとめ】竹取物語には、読者を引きつける多くの魅力(竹や月などの登場)やしかけ(5人の貴公子の失敗)、読者の期待を裏切る部分(かぐや姫のイメージが悪くなる、バッドエンド)があり、読者の心が揺さぶられるから。</p> <p>◇作者のしかけが、竹取物語の読み継がれてきた謎の一つだと分かった。「『竹取物語』を10倍深く読む方法」にも入れていきたい。</p>	<p>○本時の学習をもとに、次時に「『竹取物語』を10倍深く読む方法」を書くことを伝える。</p>

## 【板書計画】

<b>振り返り</b>	<p>③自分の考えの変容や深まりを整理しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・5人の貴公子の場面の面白さが良い。</li></ul>	<b>振り返り</b>
	<p>②元のグループで交流し、全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・かぐや姫のイメージの差が読者を引きつけている。</li><li>・竹から生まれて月に帰るという不思議な展開が魅力的だ。</li></ul>	
	<p>①3つの活動に分かれて話し合い、自分の考えを明確にしよう。</p> <p>A―今まで解いた全ての課題から考える。</p> <p>B―5人の貴公子の場面を中心に考える。</p> <p>C―月に帰る場面を中心に考える。</p>	
	<p>◎『竹取物語』がなぜ、現在まで多くの人に読み継がれてきたのだろうか。</p>	
	<p>今まで解いてきた課題を基に、竹取物語の読み継がれてきた謎を解き明かそう。</p>	
	<p>蓬萊の玉の枝〜「竹取物語」より〜 めあて</p>	

## 【ICT活用計画】

教師による教材提示の計画，ICTを活用した発表，まとめ等による考えの共有の計画等

- 前回の復習や次回予告などで，前回の板書の写真やスライドを用いる。
- 学習の流れや課題一覧表を提示する。

## 【見方・考え方を働かせて解く適用問題等の計画】

例：単元の終末では，見方・考え方を働かせて次の学習に取り組む

### ①古典に関する知識

【熊本県学力・学習状況調査】令和3年度 大問3

- ②期末テストにおいて，歴史的仮名遣いの問題，「竹取物語」の登場人物の行動や心情について問う問題に取り組む。また，本授業で取り上げた竹取物語の魅力について考えさせる問題も作成する。